



TEBUFLOQUIN

本田用殺虫殺菌剤

トライ[®]トラム[®] フロアブル

農林水産省登録
第23907号

殺虫剤分類	2B
殺菌剤分類	U16

エチプロール・テブフロキン水和剤



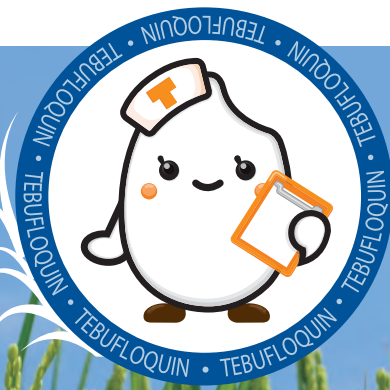
いもち病



ウンカ類



斑点米カメムシ類



稲こうじ病に適用拡大!

いもち病、ウンカ類、斑点米カメムシ類まで
2つの成分で優れた防除効果

イネいもち病に
高い予防治療効果

ウンカ、カメムシ類に
高い防除効果

テブフロキン × エチプロール



トライ[®]トラム[®]フロアブル

有効成分：エチプロール…5.0%・テブフロキン…15.0% 人畜毒性：普通物※

※毒劇物に該当しないものを指している通称

特長 トライ(テブフロキン)・トラム(エチプロール)の特長

●いもち病に“1成分”で予防と治療ダブルの効果

- トライ(テブフロキン)は既存剤とは全く異なるいもち病防除剤です。既存剤と交差耐性を示しません。
- いもち病に対して直接抗菌力を示し、感染を阻害するだけでなく、病斑形成や伸長、病斑上の孢子形成を強く阻害し、いもち病のまん延を防ぎます。
- トライ(テブフロキン)は稲こじ病にも効果があります。

●カメムシ・ウンカ類に高い防除効果

- トラム(エチプロール)はカメムシ類、ウンカ類に高い防除効果を示します。

●適用病害虫および使用方法

*印は、収穫物への残留回避のためその日まで使用できる収穫前日数と本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期*	使用方法	本剤の使用回数*	エチプロールを含む農薬の総使用回数*	テブフロキンを含む農薬の総使用回数*
稲	いもち病	1,000倍	60~150ℓ/10a	収穫 14日前 まで	散布	2回以内	2回以内 (は種時(直播)又は 移植時までの処理は 1回以内)	2回以内
	稲こじ病	250倍	25ℓ/10a					
	カメムシ類 ウンカ類	8倍	0.8ℓ/10a		無人航空機 による散布			

●試験成績

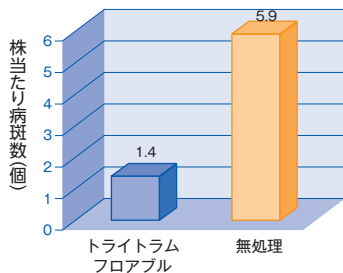
いもち病(葉) ((社)日本植物防疫協会 千葉試験場、2014年)

【耕種概要】
品種：コシヒカリ
播種：4月14日 移植：5月12日

【病害虫発生状況】
葉いもち：中発生(接種)

【薬剤処理月日・処理量】
6月26日 1,000倍 120ℓ/10a
7月 3日 1,000倍 120ℓ/10a

【調査日・方法】
7月12日(最終散布9日後)
各区中央の30株の病斑数を調査し、
1株当たりの病斑数を算出した。



【結果・考察】…トライトラムフロアブルは、無処理区と比較して効果が認められた。

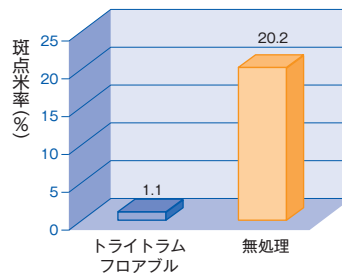
カメムシ類(新潟県農業総合研究所 作物研究センター、2014年)

【耕種概要】
品種：ゆきん子舞
移植：5月13日 出穂期：7月25日

【病害虫発生状況】
優占種：アカヒゲホソドリカスミカメ(中発生)
その他発生種：アカスジカスミカメ
オオトゲシラホシカメムシ

【薬剤処理月日・処理量】
8月1日 1,000倍 120ℓ/10a
展着剤ハイテンパワー1mℓ/10ℓ加用

【調査日・方法】
9月1日(最終散布31日後)
イネ24株を採取し、篩で選別した玄米全粒の
斑点米数を調査し、斑点米率を計算した。



【結果・考察】…トライトラムフロアブルは、無処理区と比較して効果が高かった。

⚠ 使用上の注意事項

- ① 使用の際は容器をよく振って均一な状態にして使用して下さい。また、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌して下さい。
- ② 散布液調製後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布して下さい。
- ③ 本剤を無人航空機による散布に使用する場合には次の注意事項を守って下さい。
 - ① 散布液の飛散によって他の動植物等への被害あるいは自動車の塗装などへ被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意して下さい。
 - ② 微量散布装置以外の散布器具は使用しないで下さい。
 - ③ 各散布機種種の散布基準に従って実施して下さい。
 - ④ 散布中薬液の漏れのないように機体の散布用配管その他散布装置を十分に点検して下さい。
 - ⑤ 散布終了後は次の項目を守って下さい。
 - a) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切して下さい。
 - b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は、河川等に流さないで下さい。
- ④ 本田の水稲に対して希釈倍数250倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を用いて下さい。
- ⑤ 周辺の作物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように十分注意して散布下さい。

- ⑥ ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意して下さい。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにして下さい。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないで下さい。
 - ② 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
 - ⑦ 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
 - ⑧ 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
 - ⑨ 誤飲などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には、吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。使用中に異常を感じた時は直ちに医師の手当を受けて下さい。
 - ⑩ 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
 - ⑪ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
 - ⑫ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 魚毒性等…養魚田では使用しないで下さい。無人航空機散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないように特に注意して下さい。
- 保管上の注意…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、阴凉な場所に保管して下さい。

本剤は農業用殺虫殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないで下さい。

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ／ご注文は